

2023年7月10日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

下呂市と「福祉」「教育・子育て支援」「人材育成」 に関する包括連携協定

中部学院大学（学長 江馬 諭）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 史恵）は、下呂市（山内 登 市長）と連携協定を結ぶことになりました。

本学では、地元出身の学生を中心に、地域で活躍できる人材を育てる教育を進めてきました。地域と連携して人材育成を行い、大学が持つ知見などの資源を活用し、地域に貢献しています。また、下呂市から本学には毎年、福祉や教育分野を中心に進学者があり、学びを深めています。

今回協定を締結するにあたり、下呂市と本学は「地域福祉の向上」「教育・子育て支援」「健康づくり」「人材育成」に関して連携・協力関係を築き、地域の課題に適切に対応し、「活力ある地域社会の形成・発展」と「未来を担う人材育成」など地域社会に寄与することを目的とすることで合意しました。

記

【連携協定締結式】

- 日 時 2023（令和5）年7月28日（金） 13時15分～
- 場 所 下呂市役所下呂庁舎 3階 第3-1会議室
- 次 第 出席者紹介
概要説明
協定締結（署名）
写真撮影
下呂市長あいさつ
中部学院大学学長あいさつ
中部学院大学短期大学部学長あいさつ
質疑応答

- 出席者 下呂市 山内 登 市長（やまうち・のぼる）
中部学院大学 江馬 諭 学長（えま・さとし）
中部学院大学短期大学部 片桐 史恵 学長（かたぎり・ふみえ） ほか

■ 背景

下呂市では人口減少や少子高齢化等の社会情勢を踏まえ、人口減少対策や地域コミュニティの再生等を重点施策とし、安心して生活できる社会の実現を目指し各種事業を行っています。その中で、介護サービスの提供体制の維持及び確保を目的に介護人材の育成、確保のための施策を講じていますが、今年度から新たに地域若手介護人材育成支援事業として「市内での就職の意向をもって市と連携する介護人材の育成機関に進学する者に対し、入学時に奨励金と在学中に支援金を交付する」こととしました。

一方、本学は、幅広い年齢層に及ぶ中核人材の育成に取り組み、福祉・教育・医療・幼児教育・社会福祉・スポーツの各領域にわたり、心豊かな人間性を育む教育環境を整え、地域社会と連携しながら地域に貢献する人材の育成に努めてきました。

こうした背景から、下呂市と中部学院大学および中部学院大学短期大学部との連携をより強固なものにし、地域課題の解決に向けた活動を行うなど、地域人材の育成や地域振興を推進していくために包括連携協定を締結します。

■ 目的

下呂市と中部学院大学及び中部学院大学短期大学部が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力のある地域社会の形成及び発展、未来を担う人材育成、並びに市民等の教育文化活動等の推進に寄与することを目的とします。

■ 具体的な連携活動内容

①介護人材の育成

- ・今年度から実施する地域若手介護人材育成支援事業において中部学院大学、同短期大学部を育成機関と位置づけ、卒業後に下呂市内の介護事業所への就職を予定している学生に支援金等を支給
- ・下呂市介護保険事業計画の策定のため、本学教授が委員として参画

②子育て・教育

- ・市内保育施設での保育実習受入れの推進
- ・令和6年度開設予定の子育て支援施設の活用について連携

③地域課題の解決

- ・地域コミュニティの活性化などの地域課題に関する取り組み、外国人との共生に関する相互協力

■ 参 考（本学の概要など）

大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科、通信教育部、留学生別科

- ・ 大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・ 大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部
教育学部子ども教育学科
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
- ・ 短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科

※1 これまでに本学が連携協定を締結した市町村

各務原市、関市、大野郡白川村、郡上市、美濃市、美濃加茂市、可児市、本巣市、
山県市、岐阜市、本巣郡北方町（締結順）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 国際交流・地域連携部 担当：脇田・野村

TEL:0575-46-7158（関キャンパス） Mail : chiiki@chubu-gu.ac.jp